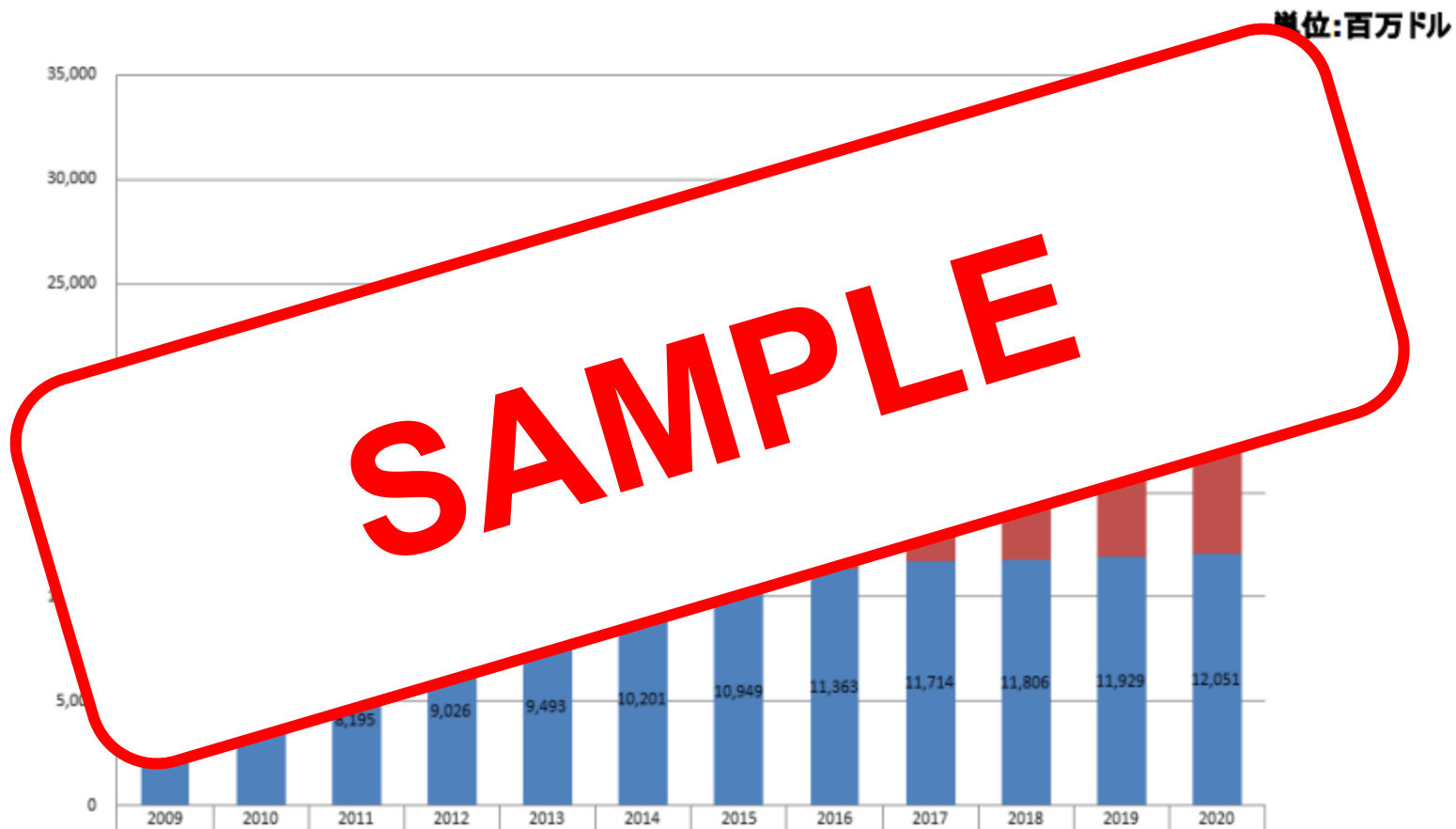

6619
ダブル・スコープ株式会社

— リチウムイオン電池の成長とともに —

リチウムイオン電池の市場規模

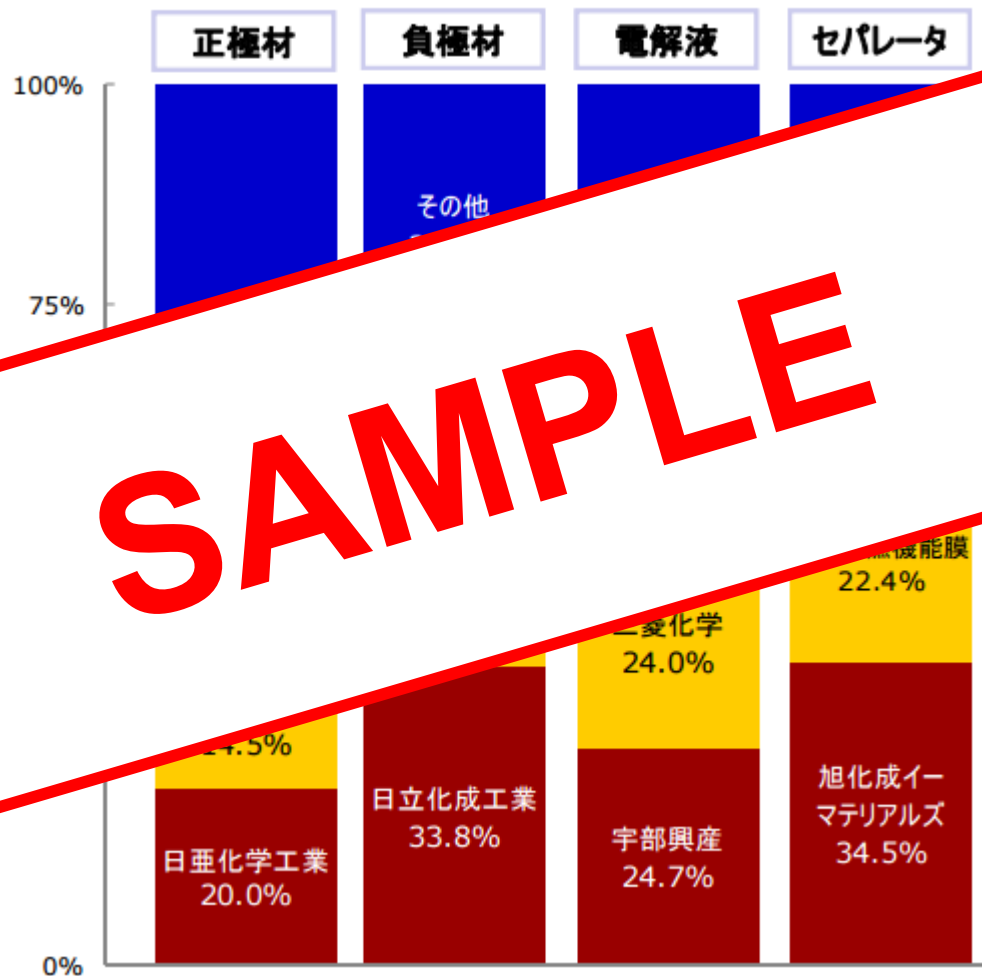
リチウムイオン電池の市場規模推移 百万ドル



資料: 会社IR資料

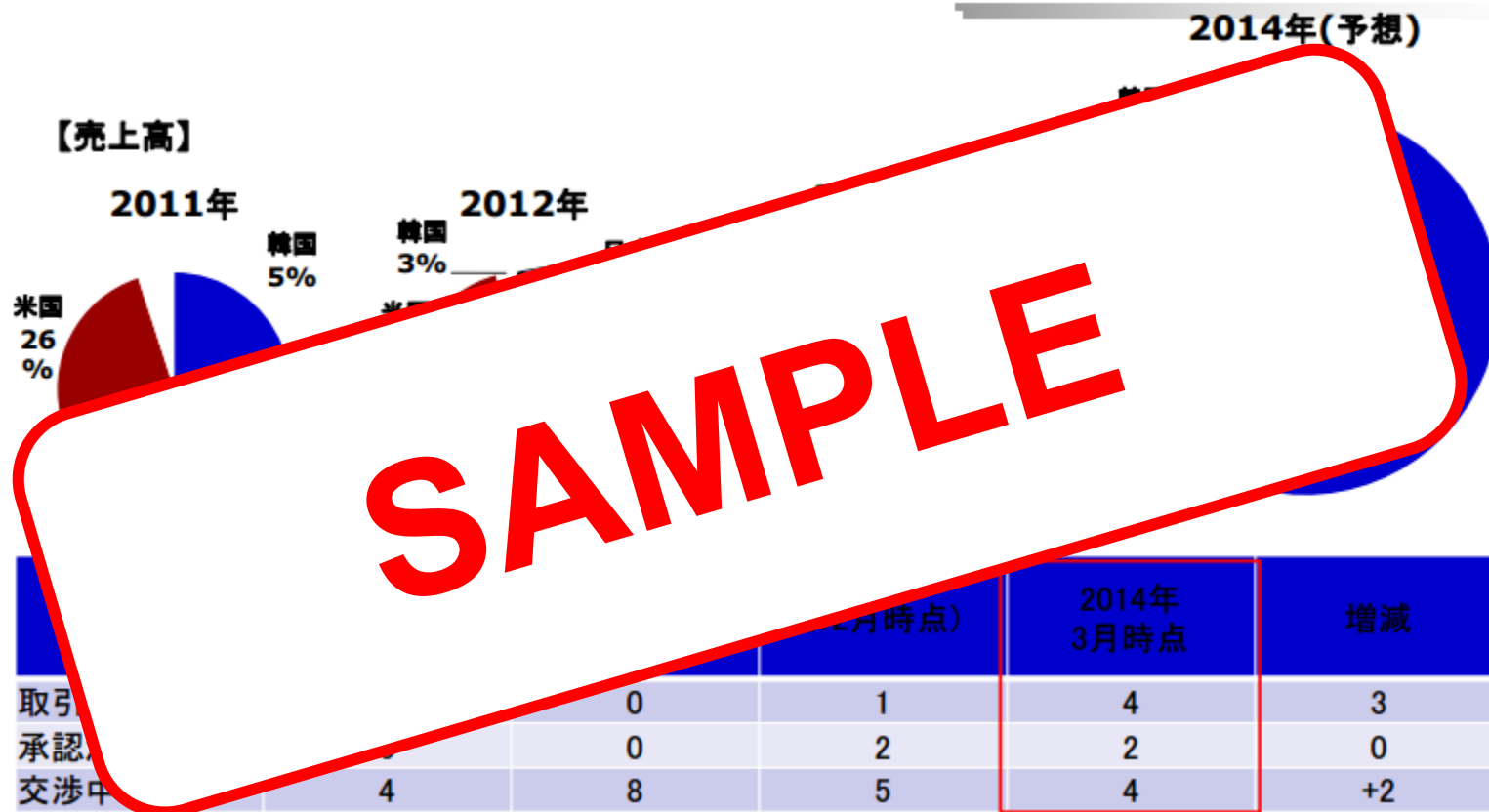
LiB主要部材の世界シェア

LiB主要4部材のシェア(数量ベース、2010年見込み)



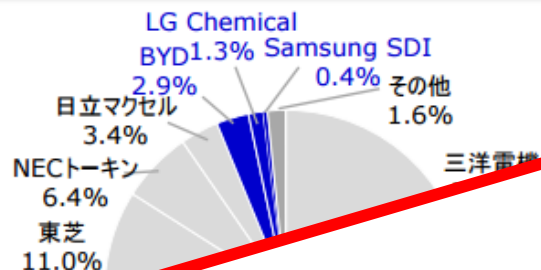
資料: 会社IR資料

W-Scopeの顧客構成

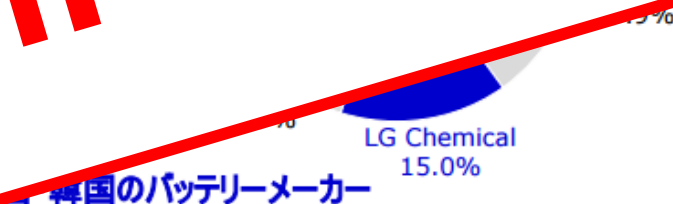


世界のLiBシェアの変遷

2000年 LiBの世界シェア(出荷数量ベース)



2010年 LiBの世界シェア(出荷数量ベース)



注: シェアは2010年1月~10月の実績であり、11月~12月は計画値。
出所: インフォメーションテクノロジー総合研究所、日経ビジネス(2010年12月6日)

SAMPLE

旭化成とW-Scopeの投資効率比較

2010年以降の旭化成イー・マテリアルズとダブル・スコープの能力増強

旭化成イー・マテリアルズ						
増強の概要						
立地・系列	増強規模	投資額	生産能力	投資効率	(m)	
日本					53	
			韓国No.3	4,000	2,100	53
日本	4		韓国No.4	4,000		
	4		韓国No.5	4,000	5,500	69

出所: 旭化成グループ 生産出届出目論見書、会社資料、SMBC日興証券



SAMPLE

1 (百万円)

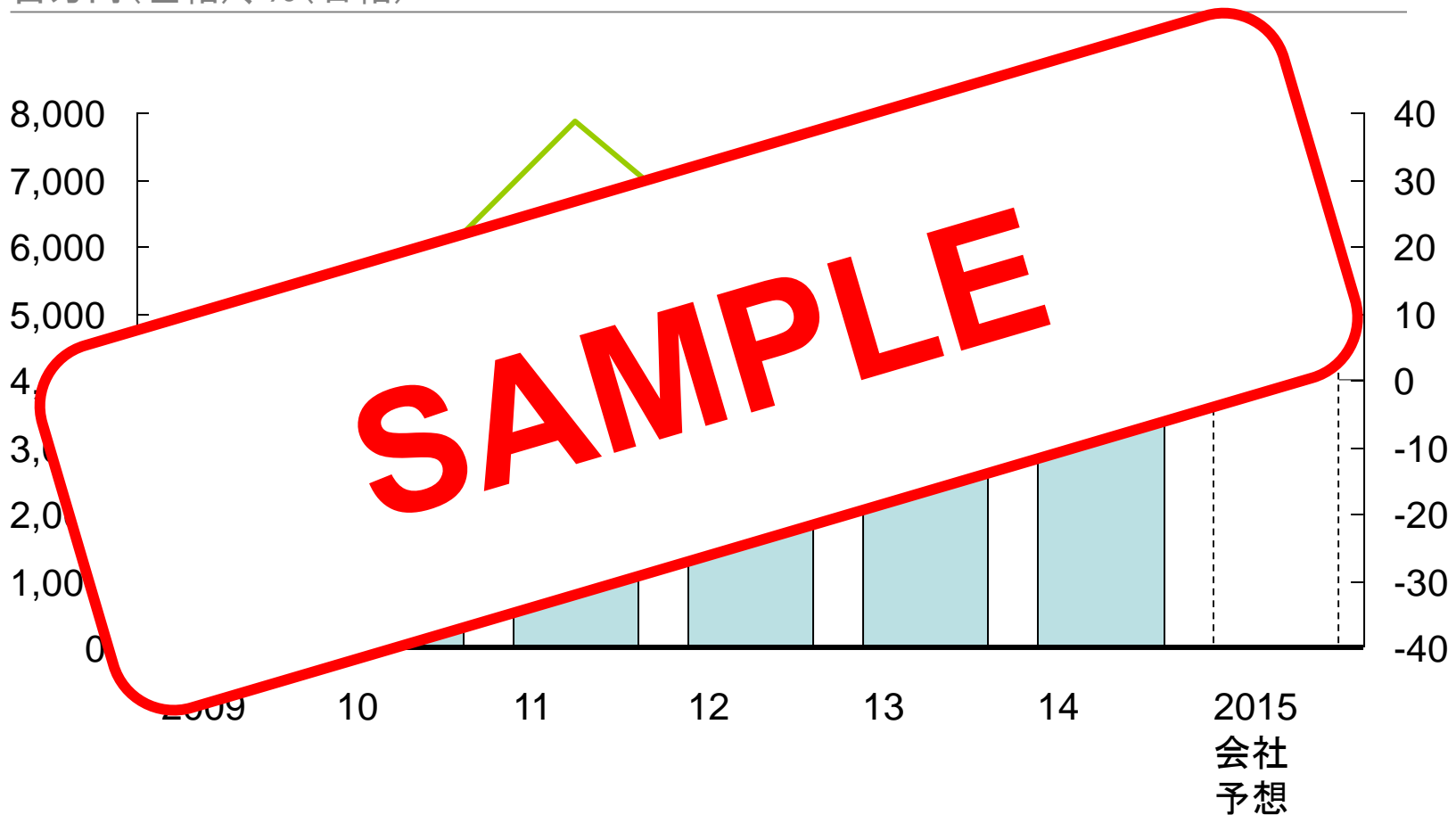
927 (円/株)

2015年03月22日の終値を元に算出

ダブル・スコープ (6619)

財務状況(PL)

売上高と営業利益率の推移
百万円(左軸)、%(右軸)



資料: Speeda

企業分析レポート

- W-Scope(証券コード: 6619) リチウムイオン電池部材メーカー
- 同社は2005年に設立された新興企業でセパレーターと呼ばれるリチウムイオン電池(以下LiB)内の正極材と負極材を「仕切る」薄膜を専業で作っており、世界シェアを誇る。
- W-Scopeの本社は東京にあるが、開発といった主要オペレーションは韓国にあり、創業者は韓国人であり実態として韓国企業と見られる。
- 韓国に工場を移した経緯がある。(余談として、韓国にはベンチャーキャピタルが豊富であるため、税制優遇や工場の土地賃借料が安い)

SAMPLE

企業分析レポート

- LiBはスマートフォンやタブレット、ノートPCといった電子機器から電動自転車、電動工具、定置用蓄電池(ESS)から電気自動車などに搭載されており、現代の生活で欠かせない部品の一つである。
 - 特にスマートフォンなどはほぼ「LiBの塊」と言っても過言でない。使用する比率は高く、また読者も実感しているようにスマートフォンは充電時間の短さに不満を抱いており、LiBはまだまだ改善の余地がある。
 - LiB関連部材は、スマートフォン、ノートPC、タブレット、電動自転車、電動工具、定置用蓄電池(ESS)などに見られる。特徴を
- 成長性
● 参入障壁
● リチウムイオン電池の長が見込める顧客基盤
● 海外生産による競争力

SAMPLE